



難関大学への合格の知らせが続々と届いています。ここでは合格を勝ち取った生徒の声をご紹介致します。

《合格した大学・学部・学科（コース）》

明治大学 農学部 農学科

志望動機

私が明治大学を志望したのは家業である農業の手伝いをしている時に生じた疑問や問題を解決するために理想的な場所だったからです。私の学びたい学問があるのはもちろん、最大の魅力はオープンキャンパスの際の研究室見学で見つけました。多くの研究室がある中で自分も参加したいと思えるような研究を見つけたとき、この大学に行きたいと思いました。

受験勉強を始めた時期

高校3年生8月ごろ

入試への準備方法

まず進路指導室で資料をもらって同じ受験方式で受けた先輩方の記録を参考にしました。一次試験の書類審査に向けては、何度も志望理由書や自己PR書、事前課題の下書きを行い、担任に添削をしてもらっていました。二次試験は講義をきいてそれに関する筆記試験と面接でした。どちらも練習あるのみだったので多くの先生に協力していただき、できる日はすべて面接と講義のメモを取る練習をしていました。

総合型選抜

喜びのコメント

総合型選抜は一般選抜と比べて、評価基準が曖昧なため自己採点などができず合格までの2週間は気持ちが落ち着かない長い2週間でした。合格発表は10:00で授業中でしたがなんとか我慢して休み時間にクラスの友達と確認しました。今までの不安が一気に吹き飛びました。



合格
祝
おめでとう

吉田 權成 (よしだ かいせい)
進学コース理系
松戸市立第二中学校出身

後輩に伝えたいこと・アドバイス

前述した通り、総合型選抜は一般選抜と比べてはっきりとした合格基準はなく、そして受験時期が非常に早いです。準備時期が高校3年生8月(私ぐらい)だと遅いほうだと思います。皆さんも何回も聞いているかもしれませんが受験勉強(準備)にフライングはないのでやることなく暇だったら勉強しとけば直前になって焦ることがなくなると思います。総合型選抜の準備はひたすらいろんな大学について調べることです。学校の先生くらい知っていると準備で詰まることがなくなると思います。受験の直前は誰でも緊張すると思います。頼れるものにはとことん頼って乗り越えていきましょう！頑張ってください！

《合格した大学・学部・学科（コース）》

東京理科大学 創域情報学部 情報理工学科C系

志望動機

中学生の頃からプログラミングやモデリングを通じたゲーム開発プロジェクトに参加してきた中で、将来はエンジニアの職に就きたいと考えるようになりました。東京理科大学でAI時代を見据えて総合的に情報学を学べる新学部が設立されると知り、そこで学びたいと考えました。

受験勉強を始めた時期

高校2年生12月ごろ

入試への準備方法

2年生のシンガポール研修が終わった冬休みから予備校に通いはじめ、英語と数学から受験に向けた本格的な学習を始めました。その傍らで模試の結果をもとに自分の弱点を分析し、担任の先生や予備校のアドバイザーにも相談しながら克服計画を立てていきました。夏前には私大志望や選択科目を固め、夏休みからは毎日の学習計画表をベースに参考書や夏期講習のテキストを解き進めて学力向上に専念し、2学期以降は過去問対策を進めました。

学校推薦型選抜（指定校制）

喜びのコメント

自分が1番行きたかった学校に、指定校推薦で合格することが出来たのは本当に幸運でした。一般受験を念頭に置いて勉強したりキャンパス巡りをしたりしていましたが、結果的に高校3年間の成績や頑張りや実を結び形になり、とても満足しています。



合格
祝
おめでとう

石橋 悠月 (いしばし ゆづき)
一貫コース理系
東洋大学附属牛久中学校出身

後輩に伝えたいこと・アドバイス

私は、自分に適した受験方式の模索から学習計画、志望理由書の作成や面接対策、悩み相談まで、担任の先生や塾のアドバイザー、両親、友人、様々な人達から支えてもらいました。大学受験は、自分一人で抱え込みすぎず、周囲の協力を得ることも大切だと実感しています。また、一般入試を考えている人も、推薦で進路を決める可能性も考慮し、成績は1年生のうちからできるだけ高く保っておくことをお勧めします。